

留学報告書

文学部英語英米文学科4年 坂本麻依

はじめに

私は2012年9月～2013年4月まで約8ヶ月間、交換留学生として、モンタナ州立大学ビリングス校に行きました。“本物”の英語を教える教師になるため、また長年の夢を叶えるためにチャレンジしたこの留学ですが、その内容は予想を超えるほどにハードなものでした。しかし、この留学で得た貴重な経験や学びは、日本では決して得られないものばかりです。この報告では、その中身を少しだけ紹介します。

学校生活



モンタナ州立大学で留学をすることの利点の1つは様々な国から来た留学生と友達になることができることです。比較的授業にゆとりがあった秋学期には、留学生みんなで食事をとることも多く、大きなグループで楽しい時間を過ごしていました。この写真に写っているのは、エチオピア、カメルーン、中国、フィリピン出身の学生です。



大学では、季節ごとにイベントが開催されます。これは、その1つでハロウィンのダンスパーティの様子です。みんな思い思いの仮装をしているので、写真を撮るだけでも十分に楽しめます。私もテスト前日でしたが、このチャンスを逃すわけには行かない・・・と、参加しました。とても良い思い出になりました。



モンタナは冬の寒さで有名です。この写真は10月に初雪が降った時に撮りました。真冬になると、最低-20℃、最高-5℃の日々が続きます。室内は暖かく、半袖で過ごす学生もいるほどですが、外は一面の銀世界です。熊本で生まれ育った私は、新鮮な光景でした。

旅行



クリスマスには1ヶ月ほどの休暇があり、アメリカ国内の旅行に行きました。中でも私が一番感動したのは、アリゾナ州にあるグランドキャニオンです。長年の侵食でつくられた見渡す限りの峡谷は、圧巻そのものでした。また、1月に行ったこともあり、岩肌には雪が積もっていました。このような珍しい光景に出会えたのも、旅の思い出の一つです。



ニューヨークで見た自由の女神は世界中の誰もが知る有名な観光名所です。私が写真を撮ってくださいとお願いした男性は、私たち5人のうち、2人の顔と女神の一部という見事な写真を撮ってくださいました。写真は撮ってもらう人を選ばないといけないということも学びました。

*この写真は友人からもらいました。

ホストファミリー



休暇中や行事など、お家に招いてくれたのがホストファミリーです。私は料理上手のリータという女性の家族にお世話になりました。サンクスギビングやクリスマスなど、アメリカならではの行事は、アメリカの家庭で体験させていただくのが一番です。一緒にパイを作ったり、クリスマスの飾り付けをしたり、楽しいひと時を過ごさせていただきました。この写真に写っているのは、リータの次男でなんとこの時16歳です。アメリカンフットボール、野球、レスリングをするスポーツ万能な優しい息子さんでした。

おわりに

留学を終え、私ができることは、教師となってこの経験をいかすこと、留学の重要性を一人でも多くの人に伝えることだと考えています。また、最後になりましたが、アメリカで出会った友人やホストファミリー、そして、この留学に携わって下さった県立大学の教職員の方々にとても感謝しています。このような貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。